

# 「伝えあう力」を培う指導法の工夫

大寄小学校

## 1 単元名 「伝えよう！マイクロマシンの」(話すこと・聞くこと)国語科 4年

### 2 単元の目標

準備や練習を通して、友達と話し合う、アドバイスし合うことの楽しさを味わうことができる。

### 3 指導計画の概要

単元の流れ 第2次のみ

「マイクロマシンのゆめ」という説明文の読み取りの学習をした後に第2次として、「学習したことを桜ヶ丘小学校の4年生に発信しよう」と投げかけ、交流のある桜ヶ丘小学校の4年生に、テレビ会議システムで自分たちの発表を聞いてもらうという、相手意識、目的意識を明確にした「話すこと・聞くこと」の学習を進めていった。

ここでの学習の流れは次のようにした。

グループ(生活班)ごとに「どんな内容を、どんな場の設定で伝えるか」話し合う。

アイデアをクラス全体に紹介し、みんなでよりよい内容や場を考える。

グループごとに、原稿や資料を準備、発表の練習をする。

他のグループの発表に対してアドバイスし合い、わかりやすい発表を工夫する。

桜ヶ丘小学校の4年生に発表する。

発表内容

題名	方法	内容
1班「オリジナルマイクロマシン」	絵と説明	夢のマイクロマシン
2班「20年前のある家族」	紙芝居	マイクロマシンの便利な使い方
3班「大寄テレビ局」	アナウンス・インタビュー	マイクロマシンが実現したら
4班「どっちのクイズショー」	クイズ	調べたこと
5班「マイクロ劇場」	劇	教科書の内容
6班「アイズテレビ局」	アナウンス・インタビュー	マイクロマシンの便利さ

## 4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

《単元構成の意図》

「マイクロマシンのゆめ」という説明文の読み取りの学習に終わることなく、学習したグループごとに内容や場の設定を考えて、桜ヶ丘小学校の4年生にテレビ会議システムで発信することを最終的な目的として単元を構成した。

本校の情報教育の目標として高学年では「情報発信能力の育成」がある。国語で学習した内容を他校との情報交換を通してより深めるためにテレビ会議システムを利用した。リアルタイムでの情報の交換や意見交換は、児童の活動意欲を高めさらにより高度な情報発信の技能が高められる基礎となると考える。

## 5 成果と課題

児童にとって、テレビ会議システムを使うのは初めての体験であったため、どの児童もこの日を大変楽しみにしていた。当日、相手校の児童が画面に映ったときは「本当に今の姿がテレビに映っているんだ」という驚きと、「いよいよ発表するんだ」という緊張の顔でいっぱいだった。

発表を他校の児童に聞いてもらうという相手意識の明確な学習に取り組んだため、児童

はそこに至るまでの準備や練習に最後まで意欲的に取り組むことができた。リアルタイムで相手に伝えることができるというテレビ会議システムは、国語科の「話すこと・聞くこと」の学習として有効であり、いろいろな活用の仕方が考えられると感じた。



## 6 児童の感想

第9時では、第8時でアドバイスしながら練習したことを生かして、桜ヶ丘小学校にテレビ会議システムで発信した。こちらが発表して後で感想を言ってもらったり、後日、改めて感想の手紙が届いたりした。これも、大きな意味での「伝え合い」の場と言える。

### 大寄小児童の感想

私は、最初はドキドキしていたけど、大寄小と桜小のコンピュータがつながったとき、私は楽しい気持ちでした。早く番がこないかと待っていました。私たち四班はマイクロマシンについてクイズを作って桜小に教えました。桜小の四年生はまだ習っていなかったので静かに聞いてくれました。とても、よかったです。いつの間にかドキドキ感がなくなって練習と同じようにスムーズに進みました。私は、また同じように発表をしたいです。

私は桜小とのテレビ会議をして、桜小のみんなとふれあえてよかったな、と思いました。私たちの班は「オリジナルマイクロマシン」を紙に書いて発表しました。みんな自分の個性を生かして一生懸命に自分のマイクロマシンの名前や能力を考えていました。また今度桜小のみんなと交流を楽しみたいです。

### 桜ヶ丘小児童の感想

1班「いろいろなマイクロマシンの名前と自分が考えたマイクロマシン」・声をはっきりとしていて聞きやすい。・絵に表していてわかりやすい。

2班「マイクロマシンのいい使い道」・紙芝居でやっていた。・ちょっと声の小さい人がいた。

3班「ニュース形式(前半と後半)」・マイクロマシンのニュース形式で前半と後半に分かれてインタビューなどをしていった。声も大きかった。

4班「どっちのクイズショー(前半と後半)」・クイズを出していた。とても楽しく難しい問題があった。・声もよく出していた。・絵があるので見やすい。

5班「げき」・本当の学校のように、先生が生徒を指していた。生徒役の人が私たちに言いたい事を発表していた。声も出していた。

6班「ニュース形式(前半と後半)」・ニュース形式で聞いている人に呼びかけるように話していた。・声が出ていた。桜っ子タイムで・声を大きくする。・自己紹介をする。・呼びかけるように話す。・人にわかるように発表する。

1班「いろいろなマイクロマシンの名前と自分が考えたマイクロマシン」・とてもわかりやすかった。・特徴も言っていたのでわかりやすかった。

2班「マイクロマシンのいい使い道」・とてもわかりやすかった。・使い方などを言ってよかった。

3班「ニュース形式(前半と後半)」・使ってみたいことを言って、とても聞きやすかった。

4班「どっちのクイズショー(前半と後半)」・よく調べられていた勉強になった。

5班「げき」・よいところや大きさや特徴を言っていてよかった。

6班「ニュース形式(前半と後半)」・はっきりと言って聞きやすかった。

